

草野

東部

町並歴史探訪 2時間コース

春コース

街道の面影を残す春の町並みコース
日田街道の宿駅としての草野の町並み、美しい石垣が残る矢作の町並みなどを巡り、地域の固有文化に触れ、その途中には椿、サザンカ、梅、桜、つつじなどの美しい花々に触れるコース。

秋コース

街道の面影を残す秋の町並みコース
日田街道の宿駅としての草野の町並みを味わい、草野で作られる工房やギャラリーを巡り、紅葉の美しい柿畑の中を景観の美を感じながら散策する好奇心満たされるコース。

中世の1582年に完成した草野氏の新居城である発心城。その城下町として諸家中屋敷や神社・仏閣等の建造が進み、発展してきた草野地域。また、江戸期には日田街道山辺の宿駅であった草野。当時周辺地域の中で最大規模の町として、交通・運輸・通信上の重要な役割を果たしました。その街道筋には当時商家であった鹿毛邸（県指定有形文化財）が現在も当時の特徴を残し、その後明治・大正・昭和と続く時代において草野歴史資料館・山辺道文化館となって伝統的な町並み景観を作り出しています。



グライダー山
この山から昭和16年2月7日、13時間41分という日本滞空時間新記録を達成。記念碑があります。7日AM10時26分55秒～翌8日AM0時08分05秒

サザンカ群生地
長岩山（別称：サザンカ山）の西斜面にあるサザンカの群生地。県の天然記念物。

猿田彦とは
古事記の神武東征記に登場する神。ニギハヤヒの孫で高天原より地上（九州の日向国）に下る時に道案内をした神と伝えられます。そこで、昔は各村落では「道しるべの神」「村落の神」「農家の守護神」などとして、村の出入口や村の中心に祀っていたといわれています。

草野花暦	花名	開花時期
ツバキ	3月中旬～下旬	
桜	3月下旬～4月上旬	
つつじ	4月中旬	
紅葉	11月中旬	
スイレン	6月～9月	

西部版へ

道標

西部

草野

耳納連山



グライダー山
この山から昭和16年2月7日、13時41分という日本滞空時間新記録を達成。記念碑があります。7日AM10時26分55秒～翌8日AM0時08分05秒

サザンカ群生地
長岩山（別称：サザンカ山）の西斜面にあるサザンカの群生地。県の天然記念物。

竹井城跡

若宮八幡宮
草野永平が源平合戦時に摂津国平野若宮社に祈願し功をあげたことより、文治3年（1187）に分霊を勧請した。

永禅寺
建久年間（1190～99）大紹正宗国師の開創といわれ、本尊は薬師如来で天平元年（729）行基菩薩の一カ三礼作とされる。

文久年間の建築と伝えられる貴重な古民家。
※お宅には入らないでください。

今村ヒトエ邸
庭園に植えられた、推定樹齢300年の正義、推定樹齢200年の白玉宝珠のツバキの古木が見事。

民家にしてこれだけの門構えを持つ家は、地域でも貴重。※お宅には入らないでください。

中世の1164年肥前国高木から入国した草野氏。この吉木武井の地に居城し、吉木地区が城下町として発展する礎となりました。現在は吉木若宮八幡宮を地域の中心として、柿・苗木畑・萱葺きなどの特徴を持つ家々などが点在し、美しい庭園を持つ家も多い。特に、このエリアはツバキの古木が多く、2010年には国際つばき会議久留米大会がこの草野で開催されます。また、ツバキに限らず、つつじ、サザンカなどが多く見られ、景観豊かな地域です。

ビューポイント
山際からの耳納連山の全景が素晴らしい。

ビューポイント
動物の形をした榎木（トビアリー）が見れる。
※お宅には入らないでください。

ビューポイント
幾重にも重なる山々の絶景が見渡せる。

見事に手入れされた庭には、カイズカの木が特徴的。
※お宅には入らないでください。

猿田彦とは
古事記の神武東征記に登場する神。ニギハヤヒが高天原より地上（九州の日向国）に下る時に道案内をした神と伝えられます。そこで、昔は各村落では「道しるべの神」「村落の神」「農家の守護神」などとして、村の出入口や村の中心に祀っていたといわれています。

自然満喫・庭園観賞 2時間コース

- 春コース** 春の息吹を感じるコース
ツバキ、サザンカ、梅、つつじなどが咲くこの季節に、自然豊かなこのエリアを散策し、その素晴らしい景観を楽しみ、地域の固有文化に触れることで、心が癒されるコース
- 秋コース** 秋の彩りの美しさを楽しむコース
柿・銀杏・紅葉などの色とりどりの樹木の美しさが見られるこの季節に、清々しい空気、高く澄み渡る秋の空、さらには素晴らしい景観を楽しみ、心を豊かにするコース

草野花暦	時期
ツバキ	3月中旬～下旬
桜	3月下旬～4月上旬
つつじ	4月中旬
紅葉	11月中旬
スイレン	6月～9月

東部版へ

道標